学校番号	205

令和８年度　情報科

教科	情報科	科目	情報演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	実戦攻略情報Ｉ大学入学共通テスト問題集（実教出版）						
副教材等	駿台大学入学共通テス実戦問題パックⅤ情報Ｉ（駿台文庫）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

問題演習を中心に一年次必修科目情報Ｉの既習内容の復習を行いながら、知識の定着と思考・判断力の向上を図る。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】情報に関連する知識や技術について適切に活用できる。
【思考力、判断力、表現力等】情報に関する科学的な見方・考え方を用いて身のまわりの事象をとらえ、関連付けて表現できる。
【学びに向かう力、人間性等】情報社会に主体的に参画する態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	情報と情報技術について科学的な見方を・考え方を働かせ、制度や仕組み、社会における役割について理解を深め、適切に活用できる。	情報とその結びつきという観点でものごとを捉え広く考察できるようになる。また、アルゴリズムやその表現方法について習得し、適切に表現できる。	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	コンピュータとプログラミング	論理演算 コンピュータの構成・性能 モデル化とシミュレーション プログラミング	a: コンピュータの基本的な仕組みやアルゴリズム、プログラムの構成要素、モデル化とシミュレーションの手順について理解し、それらを活用する技能を身に付けている。 b:コンピュータの仕組みを説明できる。同じ処理について複数のアルゴリズムを考えることができ、効率のよいものを選ぶことができる。アルゴリズムをプログラムとして表現することができる。身近な事象をモデル化して捉えることができる。 c: 本単元の学習内容について自らの問題として主体性をもって取り組み、学習前と後での自身の変化を客観的に評価できる。	定期考査	定期考査	授業観察 提出課題
二学期	コミュニケーションと情報デザイン	情報デザイン デジタル化	a:メディアの発達により生じる課題、メディアリテラシーの必要性、情報のデジタル表現およびその特性、情報デザインについて理解している。 b:受け取る情報の信ぴょう性や情報を発信する際の工夫について考えることができる。デジタル化の仕組みについて説明することができる。 c: 本単元の学習内容について自らの問題として主体性をもって取り組み、学習前と後での自身の変化を客観的に評価できる。	定期考査	定期考査	授業観察 提出課題

	情報通信ネットワークとデータの活用	ネットワークの仕組み データベース	a: 情報通信ネットワークのしくみや情報セキュリティについて理解している。データベースの仕組みや役割について理解し、それを活用する技能を身につけている。 b:コンピュータネットワークでどのように情報がやり取りされているか説明することができる。情報セキュリティに関して適切な判断ができる。身のまわりのデータを分類し、分析・表現することができる。 c: 本単元の学習内容について自らの問題として主体性をもって取り組み、学習前と後での自身の変化を客観的に評価できる。	定期考査	定期考査	授業観察 提出課題
三学期	情報社会の問題解決	情報セキュリティと法規 知的財産権	a:情報の特性を踏まえ、情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法を身につけている。情報に関する法規、情報セキュリティの重要性を理解している。情報技術がもたらす影響について理解している。 b:目的に応じて情報技術を適切に活用する判断ができる。情報に関する法規の意義や個人の責任について考えることができる。 c:本単元の学習内容について自らの問題として主体性をもって取り組み、学習前と後での自身の変化を客観的に評価できる。	授業観察 提出課題	授業観察 提出課題	授業観察 提出課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度